

# 秋保 いってみっぺ

野尻集落を起点に、県道から秋葉神社の参道を辿るとやがて川崎町の境となる連山の峰に到達します。そこからは多少のアップダウンを繰り返すルートとなりますが、ブナやカエデ、苔むした岩や炭窯跡等、昔の古道の雰囲気を残す峰歩きが楽しめます。

二口街道沿いの秋保の集落で、三つの神社を祀っているのは野尻集落だけです。秋保郷西端の小さな集落ではありますが、深い歴史とここに住む人々の誇りが感じられます。

この地が、名取川上流部、仙台市最西端に位置していると想うと、平穏への祈りが、ここから風や霧、雫となって遠く仙台平野に降りていくのではないかと想像してしまいます。

藩政時代、二口街道の警備、輸送の要としての役割を担った野尻集落。日々の暮らしの中で、度々起こる疱瘡などの疫病や火事は、最たる憂いだった。先人たちは厄災を避けるために、はるか遠くの地にある霊験あらたかな神様を勧請し、集落の守護を願った。三か所に祀られているそのたたずまいは、名取川上流域の静かで清らかな空間の中であって、訪れる人々の安寧の願いを受け入れている。

## 野尻鎮守めぐりと峰歩き

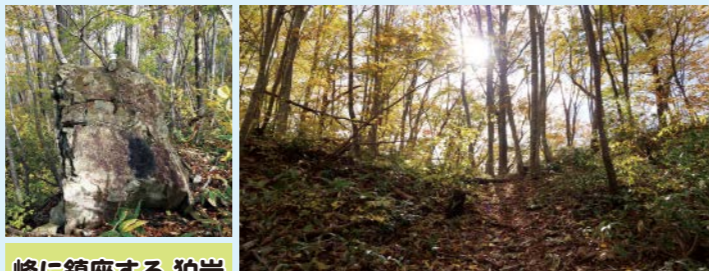
いってみっぺ  
**秋保**

野尻鎮守めぐりと峰歩き

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市  
連絡先：秋保総合支所まちづくり推進課 (022-399-2111)  
秋保市民センター (022-399-2316)

昔ながらの山道を歩き  
名取川最上流部の守護神を訪ねる  
稜線沿いの豊かな樹林を進み  
山々の景観と野尻盆地を垣間見る  
上質な空気がなんとも心地よい

# 奥秋保 野尻鎮守めぐりと峰歩き



**峰に鎮座する 狢岩**  
町境の峰に立ち二口山塊に眺みを利かせる奇岩。

**7 峰の分かれ** ここから左へ進み越え戸古道峠へ向かう。右はかつて三方倉山へと続く古道だったが、現在は廃道行き止まりである。



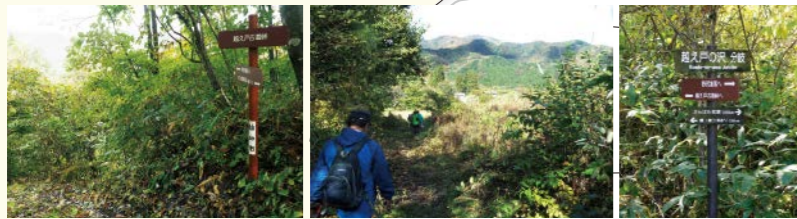
**8 三角点** 国土地理院が三角測量に用いる際に経度・緯度・標高の基準になる点。晴れば眺め良しで、西に三方倉山、南に桐の目山やオボコンペ山が臨める。



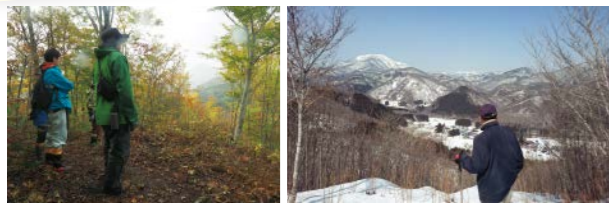
**9 カエデ平**  
腰をおろして小休止



**10 越え戸古道峠** 12 越え戸の沢分岐  
木漏れ日の峰歩き 右に杉林、左に広葉樹の森を歩く。プナの曲り木や苔むした境杭などが目をひく。



**10 越え戸古道峠** 12 越え戸の沢分岐 川崎町本砂金へと通ずる古の道。戦国時代には馬場豊後館攻略を企てた最上勢がここを進軍したという逸話が残っている。またこの付近でかつて産出した銅の荷出し道としての歴史を伝える。



**11 野尻見晴し** 小高い峰から大東岳・三方倉山のほか二口山塊の山々と麓となる「野尻旧足軽集落」を臨む。その歴史や物語に想いを馳せる。



**13 佐藤商店前**



街道へ出てばんどころに向かって歩く

## 各ポイントの間の所要時間の目安

①ばんどころ 15分 ②八坂神社鳥居 3分 ③八坂神社 15分 ④秋葉神社参道 5分 ⑤秋葉神社鳥居 15分 ⑥秋葉神社 20分 ⑦峰の分かれ 10分 ⑧三角点 20分 ⑨カエデ平 20分 ⑩越え戸古道峠 10分 ⑪野尻見晴し 15分 ⑫越え戸の沢分岐 5分 ⑬佐藤商店前 10分 ばんどころ



**6 秋葉神社** 野尻集落の西の正面に鎮座し火伏の神を祀る。アカマツや杉の巨木を従え、東方に野尻や二口街道が、直線的に見晴らしがきくなど霊験あらたかな雰囲気がある。大火で被災した野尻の先人らが、その憂いから集落を守るため、静岡の秋葉本宮神社より勧請したものと云われる。



**4 秋葉神社参道** **5 鳥居** 県道脇に立つ石碑群と祭事の旗立て石が目印。ここから左へ入り、緩やかな勾配の参道を登ると、杉林の中に鳥居が見えてくる。鳥居をくぐり小さな沢を越えて杉林の中を登っていく。



**2 八坂神社鳥居** **3 八坂神社** 県道脇の鳥居から名取川へと降りる参道を進む。社は川際の小高い岩山の頂に鎮座する。秋保郷の中でも類まれな空間を醸し出し、そのたずまいに先人の祈りを感じる。抱瘡などの疫病の災難を祓い清める祭神として、京都より勧請されたものと云われ、今も大切に祀られている。



**1 野尻交流カフェ ばんどころ** 地元の地域活動の拠点、ここからスタート。降雪時は除雪が追い付かないので要注意！



県道沿いにある野尻番所跡を物語る石塔を見つ、野尻旧足軽集落を西に進む。名取川対岸となる小屋立て山は、戦国時代野尻の老人や婦女子が戦を逃れるため避難した場所と伝わり、頂上には、もう一つの野尻の鎮守、愛宕神社が祀られている。しかし川を渡らなければならないので一般には厳しい。

**注意！** ヤマヒル・クマ・イノシシが生息している地域です。装備は怠ることなく万全に！  
季節的に草木等が繁り荒れている場所もあります。無理のない活動、自己責任での歩行をお願いします。